

おおさか府 まんにんくんれん じっし 大阪府880万人訓練を実施しました！

9月5日（木）、大阪府内では、「880万人訓練」が行われ、本校も参加する形で訓練を実施しました。「大阪府880万人訓練」は、大地震・津波の発生を

想定して、エリアメールや緊急速報メールの配信などにより、府民の皆さんに訓練として災害情報を伝達するものです。本校は、津波想定エリアではない

ため、地震発生後、校内放送や教員の指示に従い、すみやかに安全な場所に避難することをねらいとし、合わせて緊急時の連絡系統の確認を行いました。

今回の訓練では、あらためて災害時の初動の大切さについて理解を深めることができました。みなさんも、これを機会に、地震発生時にどのようにして情報を

を入手し、どのように対応するのか、考え・行動し、再確認していただければと思います。

職場や家庭では

みんなで災害時の対応、連絡方法などを
確認しておく

話し合っておくべきこと（例）

- ①自分たちの住む地域・職場・通勤（通学）経路の
リスクを確認 ⇒ ハザードマップを調べる
- ②避難所や広域避難場所への経路確認（昼・夜）
- ③家族や従業員との連絡方法 ⇒ メール・SNS等を活用する
- ④備蓄品と保管場所の確認
- ⑤非常持出品の準備（季節ごと）
- ⑥生活再建のための備えについて など

ひごろ そな <日頃からの備え>

- ・避難場所等の確認
- ・災害時の安否確認方法
- ・身の回りの確認・固定・整理



（大阪府ホームページより引用）

身の回りを確認・整理・固定

「防災」の目で見ると、
家の中にも危険がたくさん

⇒事前の対策で減災

- タンスや棚の転倒防止
- 窓や金器棚などのガラスの飛散防止
- 照明器具などの落下防止
- ピンなどの落下防止
- テレビ、冷蔵庫、電子レンジなどの家電製品の転倒・落下防止
- 防災カーテンの使用

地域での標高表示・津波避難ビル



家庭や職場では、皆さんで災害時の対応や連絡方法
などを確認しておくことが大切です。

災害時の安否確認方法（例）

【災害時の安否確認ツール】

- 災害伝言ダイヤル171（NTT）
- web 171（NTT）
- 災害用伝言板（携帯各社）
- 災害用音声お届けサービス（携帯各社）

災害時に安否確認ができるサービスです。利用方法など詳しくは、各社ホームページをご覧ください。
また、「171」「web 171」「災害用伝言板」は下記の期間に体験利用ができます。

※体験利用できる日

- ・毎月1日・15日
- ・正月三ヶ日（1月1日～1月3日）
- ・防災週間（8月30日～9月5日）
- ・防災とボランティア週間（1月15日～1月21日）

【SNSの活用について】

「大阪北部地震の影響で、電話回線は大きく混雑。NTT西日本によると、通信設備に故障が発生し、大阪府で約1万2800件の加入電話が一時的につながらない状態になった。」
(平成30年6月22日 産経新聞)

一方で、「LINEは地震発生直後の午前8時時点でのメッセージの送信数が通常の約5倍に拡大、午前8時～午後2時の6時間でも2倍に膨らんだ。家族や友人との安否確認にLINEを利用する人が増えたという。」(平成30年6月19日日本経済新聞)

⇒電話やメール以外にLINEやFacebook、twitterといったSNSの連絡手段も有効

(大阪府ホームページより引用)